

平成23年度の取り組み方針(案)について

行動計画の推進・フォローアップ

- 行動計画を着実に推進し、施策の進捗管理を行う
- 次期中間評価に向け必要な基礎データの集約を行う
- 「中間評価結果」、「環境劣化・再生メカニズムの整理」、「市民団体等との連携」等の実態を踏まえ、行動計画の見直しを行う

環境劣化メカニズム(汚濁機構)・再生メカニズム の解明・整理に向けて

- モニタリング計画に従い、伊勢湾流域圏の水質等の監視を行う
- 伊勢湾シミュレータ等を活用して汚濁機構・再生メカニズムを検討する

多様な主体との連携促進

- 研究者、NPO、市民団体との情報交換・連携を継続する
 - ・ 伊勢湾再生流域圏研究会
 - ・ 伊勢湾流域圏再生ネットワーク
- 「伊勢湾流域圏一斉モニタリング」の継続

行動計画の見直し方針

1. 中間評価結果における課題

- 行動計画策定から3年が経過し、行動計画に掲載されている施策には完了したもの、未掲載ながら実施しているもの、新規に取り組まれたものがあり、施策群の整理が必要である。
- 行動計画には環境指標や施策指標に具体的な目標値が示されていないため、達成状況を定量的に評価することが困難である。
- 施策等は着実に実施されているが、環境指標に明確な改善傾向が認められず、伊勢湾再生の効果が分かりづらい。

2. 検討方針

今後、確実に行動計画の目標を達成していくため、次年度に以下の方針で行動計画の見直しを検討する。

- (1) 施策群の見直し…完了した施策の区分、同一内容の施策の統合、機関ごとの統一的な施策の整理、今後行う施策の追加
- (2) アピールポイントの検討…候補地の整理、将来像の設定
- (3) 数値目標の検討…伊勢湾全体及びアピールポイントごとの数値目標(水質、施策実施量)の検討
- (4) 行動計画本文の追加・修正…(1)～(3)の検討内容を踏まえた追加・修正等
アピールポイント: 一般の市民・住民へ行動計画の取り組み状況を身近に実感してもらえる場

3. 見直しフロー

年 度	検 討 内 容			
	施策群の見直し	アピールポイント	数値目標	行動計画本文
平成22年度	施策群の区分、統合・追加	候補地の整理		
平成23年度		将来像の設定	数値目標の検討	追加・修正
		↓ 行動計画改定版(案)の提示 ↓ 行動計画改定版の公表		

平成23年度 伊勢湾流域圏一斉モニタリングについて

目的:

- 伊勢湾の環境モニタリングにおける関係機関との連携構築を図る。
- 市民に伊勢湾再生への関心を持ってもらう。

実施時期:

- 一斉モニタリング期間 7月27日～8月10日
- 行政機関の統一実施日:8月3日(水)

実施主体

- 関係行政機関:
定期観測のうち1回を、統一実施日に実施する。
- 市民団体等:
伊勢湾流域圏内の市民が、一斉モニタリング期間内に水質調査を実施する。
参加に当たっては、事務局より広く募集をかけ、必要に応じて水質の簡易測定キットの配布等を行う。

主な調査項目:

BOD、COD、T-N、T-P、DO、ゴミの状況など

募集方法:

- 5月上旬から市民への募集を開始する
(プレスリリース、推進会議ホームページへの掲載等)
普段から水生生物調査に取り組んでいる団体や、企業のCSRに関連づけた参加も可能とし、広く参加を求める。
- また、関係行政機関へは、推進会議構成員を通して参加を求める。

データの公開

比較的早く回収できる簡易測定キットの結果を整理し、9月下旬に速報版を公表。
行政機関等が実施したデータを含めて整理し、12月下旬に最終結果をインターネット上で公表。